おかげさまで　創刊65周年

Kintai 金融タイムス

（昭和34年5月25日　第3種郵便物認可）　第1649号　2024年（令和6年）9月5日（木曜日）

9月5日（木曜日）

発行所 金融タイムス社
東京都千代田区九段南3－7－9
〒102-0074　電話 03(3288)1121 ㊗
編集兼発行人・大塚一雄
郵便振替口座　00160-4-62520
発行日5日、15日、25日

（公社）日本専門新聞協会加盟
速報は、キンタイFAX
解説は、Kintaiで!!
fax 03-3288-1160
e-mail info@kintai.biz

速報は、キンタイFAX
解説は、Kintaiで!!
（公社）日本専門新聞協会加盟
おかげさまで 創刊65周年
HP http://kintai.biz
E-mail info@kintai.biz

主な記事
■J-FLEC　出張授業の講師派遣の申し込み開始
■東信協・都信協　脱炭素化支援事業開始
■尼崎信金　地域活性化のシェアスペース「AMA-NEST」開設

預金1兆円超信金 42金庫に

本紙調査

預金1兆円超信金24年3月期決算

川口信金 預貸ともトップの伸び

本紙編集部は、このほど預金1兆円を達成している信金の2024年3月期の決算状況をまとめてみた。預金残高1兆円を超える信金は、前期より1金庫増えて42金庫になった。5兆円台の京都中央信金をトップに、城南信金が4兆円台。3兆円台が3金庫、2兆円台が前期より1金庫増えて15金庫、1兆円台に新たに川口信金が仲間入りし、22金庫となった。

預金1兆円以上の信用金庫の業況（2024年3月末）

	信金名	都道府県	預金残高（億円）	前年同期比増減率（%）	貸出金残高（億円）	前年同期比増減率（%）	預貸率（%）	業務純益（億円）	経常利益（億円）	当期純利益（億円）	自己資本比率（%）
1	京都中央	京都	53,423	0.17	32,981	2.52	61.7	71	182	141	10.93
2	城南	東京	40,216	0.41	23,501	△0.35	58.4	78	67	39	10.46
3	岡崎	愛知	36,657	1.65	17,239	0.51	47.0	△57	28	30	11.51
4	多摩	東京	32,723	1.64	11,548	△0.86	35.3	18	36	27	8.53
5	埼玉縣	埼玉	31,966	1.27	18,706	1.50	58.5	46	45	33	9.27
6	京都	京都	28,483	△0.79	18,611	0.84	65.3	60	25	20	8.18
7	浜松いわた	静岡	28,066	2.07	13,407	1.83	47.8	66	45	34	13.74
8	尼崎	兵庫	27,517	△0.05	13,014	△1.38	47.3	48	45	35	15.95
9	城北	東京	26,770	0.35	13,076	△0.18	48.8	56	66	49	7.98
10	岐阜	岐阜	26,359	1.77	14,558	1.62	55.2	42	64	48	9.68
11	大阪	大阪	25,484	△4.20	15,794	△0.67	62.0	80	119	85	13.26
12	大阪シティ	大阪	25,421	△0.67	14,127	△0.68	55.6	48	50	42	10.22
13	川崎	神奈川	23,468	1.88	14,321	4.34	61.0	69	52	36	12.21
14	碧海	愛知	22,973	1.01	11,961	1.32	52.1	44	51	37	15.35
15	西武	東京	22,441	△0.64	15,146	0.48	67.5	102	107	79	13.84
16	瀬戸	愛知	22,004	0.81	11,329	0.64	51.5	51	47	34	12.29
17	朝日	東京	21,506	△10.55	14,828	1.77	68.9	43	72	49	10.10
18	東京東	東京	21,184	0.28	11,409	△1.05	53.9	50	44	38	11.50
19	横浜	神奈川	20,509	0.86	11,772	2.70	57.4	32	48	36	10.35
20	巣鴨	東京	20,011	0.39	9,357	1.06	46.8	31	44	34	10.69
21	しずおか焼津	静岡	18,305	2.15	9,127	1.67	49.9	32	36	26	12.25
22	豊田	愛知	18,280	3.89	9,235	2.42	50.5	39	37	27	9.83
23	大阪厚生	大阪	16,737	1.41	6,868	△2.86	41.0	156	160	118	14.08
24	広島	広島	16,710	1.83	10,608	0.45	63.5	47	32	22	13.19
25	さわやか	東京	15,485	△1.55	9,128	1.22	58.9	21	26	22	9.27
26	北おおさか	大阪	15,087	△1.15	8,103	△0.63	53.7	40	41	35	12.33
27	西尾	愛知	14,725	3.70	7,531	2.95	51.1	29	60	44	17.19
28	蒲郡	愛知	14,359	0.62	6,205	0.16	43.2	35	30	22	13.82
29	飯能	埼玉	13,922	1.72	6,520	3.08	46.8	49	75	53	13.86
30	かながわ	神奈川	13,690	1.08	6,704	3.65	49.0	17	20	14	7.14
31	湘南	神奈川	13,031	1.88	7,656	2.63	58.8	36	29	26	5.92
32	播州	兵庫	12,338	0.38	7,510	0.55	60.9	30	27	16	9.38
33	東濃	岐阜	12,239	1.17	5,754	0.47	47.0	22	20	13	16.84
34	東京	東京	12,168	1.21	7,610	0.75	62.5	65	64	46	10.30
35	水戸	茨城	11,896	0.12	4,764	3.68	40.0	10	18	17	8.83
36	北海道	北海道	11,756	△0.33	6,494	△0.11	55.2	25	27	21	19.93
37	きのくに	和歌山	11,594	△1.49	4,015	△1.30	34.6	14	17	12	15.94
38	千葉	千葉	11,393	△0.17	6,061	0.51	53.2	△10	△9	△15	7.56
39	芝	東京	11,241	△1.29	5,917	△2.18	52.6	30	30	22	11.88
40	いちい	愛知	11,172	0.28	4,420	1.31	39.6	9	20	13	11.75
41	しののめ	群馬	10,457	0.81	4,342	△0.73	41.5	24	22	15	8.23
42	川口	埼玉	10,223	5.69	5,561	4.47	54.4	14	15	10	10.90

＊「増減率」「預貸率」は、表計算ソフト上の値であり厳密ではありません

預金の伸び率では、川口信金が前期比5・69%増とトップとなった。以下、豊田信金が3・89%増、西尾信金が3・70%増、しずおか焼津信金と浜松いわた信金が2%台の伸び率となった。また2023年3月期は11金庫が前期比マイナスだったが、今期は12金庫がマイナスとなった。

一方、貸出金は3兆円超えの京都中央信金を筆頭に、2兆円台が1金庫、1兆円台が18金庫となった。

貸出金の伸び率では、預金と同様に川口信金が前期比4・47%増でトップとなった。以下、川崎信金が4・34%増、水戸信金が3・68%増、飯能信金が3・08%増と、関東地区信金の伸びが目立った。

貸出金は、2023年3月末では8金庫がマイナスだったが、今期は13金庫がマイナスとなった。

業務純益は、大阪厚生信金が1・56億円と、前期同様にトップに。次いで西武信金（100・2億円）と続いた。

経常利益は、京都中央信金が182億円でトップ。大阪厚生信金（11・9億円）、西武信金（1・07億円）が100億円台を達成した。

当期純利益は、京都中央信金が141億円でトップ。大阪厚生信金が118億円、西武信金が億円と続いた。

自己資本比率は、北海道信金が19・93%と19台に。続いて西尾信金が17・19%、東濃信金が16・84%、尼崎信金が15・95%となった。

J-FLEC キックオフ会見を開催

講師派遣（出張授業）の申し込み受付開始

ゲストとJ-FLECポーズを取る安藤理事長（左端）

井藤金融庁長官

金融経済推進機構（J-FLEC）は8月26日、東京・日本橋のKABUTO ONE 4階においてキックオフ記者会見を開き、J-FLEC認定アドバイザー講師派遣（出張授業）申込み受付が同日から、また今秋から個別相談「J-FLECはじめてのマネープラン」の申込み受付を開始すると発表した。

J-FLECは、国民一人ひとりのファイナンシャル・ウェルビーイングの実現に向けた金融リテラシーを向上させることを目的に、4月に設立、8月から本格に始動している。

キックオフ記者会見では、まず井藤金融庁長官が挨拶し、次いで安藤聡J-FLEC理事長がJ-FLECの取り組みを、「J-FLECの現状と今後」について説明した。

続いてゲストに、歌手・モデルの鈴木愛理さん、元レスリング女子日本代表の吉田沙保里さん、お笑い芸人の小島よしおさんを招きトークショーを実施した。

3人は最初にクイズに挑戦し、お金の知識レベルをチェック。「J-FLECはじめてのマネープラン」無料冊子に倣い、お金にまつわるリアルな悩みを、一人ずつJ-FLEC認定アドバイザーに相談し、アドバイスを受けた。

井藤長官は挨拶で、「J-FLECは安藤理事長のリーダーシップのもと順調に滑り出しをしていると思います。アドバイスにお金を払うということが文化面でもない中で、国民が安心してアドバイスを受けられる環境の整備というのが、極めて大きな課題だと考えています。金融庁はないことになる▼推薦するストリームになるような大事なことだと考えていますし、J-FLECの取り組みを今後もしっかりと支えていきたいと考えています」と語った。

東信協・都信協

脱炭素化支援事業を開始

東京都の補助金を活用で実施

東信協（会長・八木敏郎多摩信金会長）、都信協（会長・柳沢祥二大東京信組会長兼理事長）および東京都は9月2日、中小企業の脱炭素を促進するため、会員金庫・組合を通じて脱炭素化に係る啓発から、温室効果ガス排出量の現状診断や計画策定などを支援する「地域金融機関による脱炭素化支援事業」を開始した。同事業は東京都の補助金を活用して実施される。

支援の流れは、①地域金融機関の職員が中小企業の脱炭素化に関する相談に乗り、専門家の活用を検討、②専門家が中小企業の温室効果ガス排出量の現状診断や脱炭素化に関する計画策定などを実施、③必要に応じて、金融機関が脱炭素化に向けた取り組みに必要な資金について削減費などにより資金供給―というものの。

地銀協

「生活基盤プラットフォーム（仮称）」

地銀の共同事業として取り組みを正式決定

地銀協は、ライフイベントに伴う諸手続きのワンストップ化・オンライン化を実現するプラットフォーム・サービス（生活基盤プラットフォーム（仮称））の実現可能性等について検討してきたが、このほどこれまでの検討結果を踏まえ、全21行が参加する地銀の共同事業として取り組んでいくことを正式に決定した。

地銀協、TOPPANエッジおよび株式会社NTTデータにおいて実施してきた共同研究の結果を踏まえ、TOPPANエッジとNTTデータの知見や実績を活かしてシステム構築する予定。引き続き、3社で「生活基盤プラットフォーム（仮称）」のシステムの詳細検討等を進め、ライフイベントで発生する様々な手続きをスマートに完結させるWe-hing社会の実現を目指す。

まず、本年10月中旬途中、総務省ネットワークサービス株式会社（地銀協に加盟する全62行の共同出資会社）とTOPPANエッジの共同資本により、本サービスの運営会社を設立する予定となっている。

同サービスは、2022年6月に、まず41金庫が参加する予定となっている。

資金決済制度のあり方を検討へ

金融審議会

金融庁は8月26日、第53回金融審議会総会・第41回金融分科会合同会合を開き、鈴木金融担当大臣より、①資金決済制度等のあり方に関する検討、②保険市場の確保と健全な発展に向けた方策―の2項目についてWGを設置して検討していくことになった。

また同総会では、7月2日に出された「市場制度WG報告書」を正式に承認した。

地銀

地銀の共同事業として取り組みを正式決定

予約、地方銀行全62行の住所変更、口座振替登録がオンライン上で完結可能なプラットフォームとしてサービスを開始する。その後、手続き対象となる金融機関を拡大していくほか、段階的に対象手続きをインフラ企業への停止・利用開始手続きやその他のライフイベントに応じた手続き等）の拡大を目指す。

金融庁は、地方銀行の住所変更、口座振替登録がオンライン上で完結可能なプラットフォームとしてサービスを開始する。その後、手続き対象となる金融機関を拡大していくほか、段階的に対象手続きをインフラ企業への停止・利用開始手続きやその他のライフイベントに応じた手続き等）の拡大を目指す。

春秋

9月、いよいよ自民党総裁選本番まちかである▼先の都知事選では1つの椅子に対して、合計50数名が立候補していたが、ほとんどの度肝をぬかしたとえ落選しても選挙期間中は、候補者の人数は、ほとんどの度肝をぬかし